

- ア 講演 進路指導共通行動の指針
- イ 講義 進路指導の評価と計画
- ウ 研究発表 職業観を確立し、進路を選択するための情報の活用
- エ 研究協議
 - 第1分科会 進路指導における観察・相談指導はどうすすめたらいいか。
 - 第2分科会 進路指導主事の役割と協力体制はいかにあるべきか。
 - 第3分科会 学校の実態にあった進学指導はどうすすめたらいいか。
- ⑥ 講師
 - 県教育庁高等学校教育課指導主事 立正女子大学教授 仙崎 武
 - 日本リクルートセンター 大江 淳良
 - 県商工労働部職業安定課職業指導官

第6節 特別活動

〔義務教育課〕

1 昭和51年度指導の重点

特別活動全体をととして、調和と統一がとれた指導ができるよう、全教師が協力して全体計画及び各内容ごとの指導に改善を加え、地域や学校の実態・児童生徒の心身の発達段階や特性を考慮し、自発的、自治的な活動が助長されるよう、次の点を重点として指導の徹底を図った。

- (1) 指導計画を検討し、改善を図る。
- (2) 児童・生徒が自主的、実践的活動ができるよう指導の徹底を図る。
- (3) 各内容ごとに指導の重点をあげ、指導の充実を図る。

2 主な研修及び行事

(1) 研究指定校発表会

児童生徒の学力向上と豊かな人間形成に資するため、研究学校を指定し、研究実践を図った。

- ① 学校名 西郷村立小田倉小学校
- ② 期日 昭和51年11月25日
- ③ 講師 福島県教育庁義務教育課指導主事
同 県南教育事務所指導課長
同 指導主事
- ④ 参加者 約120名
- ⑤ 研究主題 自主性を育ねるのぞましい集団活動
——実践力を伸ばす学級会活動——
- ⑥ 研究内容 学級会活動において、集団の場と条件を整え、一人一人の児童が問題意識をもって、自発的に実践活動を行うことにより、自主性の育成に努めてきた研究である。(昭和50・51年度指定)

(2) 県小・中学校教育研究会特別活動部会

- ① 主催 県教育委員会、小・中学校教育研究会

関係市町村教育委員会

② 研究主題

ア 小学校

- 学校行事における、児童の自主的な参加意欲を高めるための指導はどうしたらよいか。
- 学級指導を効果的にするための資料の作成と活用をどうしたらよいか。

イ 中学校

- 豊かな人間形成をめざし、生徒の自主性、自発性を伸ばす特別活動の指導をどうするか。
- 特別活動を充実発展させるための諸条件をどう整備すればよいか。

③ 期日及び会場

校種	期日	会場	参加人員
小学校	10月26日～27日	東白川郡鮫川村立鮫川小学校	138名
中学校	10月26日～27日	郡山市立郡山第一中学校	54名

〔高等学校教育課〕

1 卒業式

(1) 県立学校卒業生数

課程	性別		計
	男	女	
全日制	12,217	11,362	23,579
定時制	544	507	1,051
通信制	46	120	166
計	12,807	11,989	24,796

(2) 県立特殊学校卒業生数

性別	男	女	計
計	115	105	220

(3) 卒業式開催期日

3月	県立高等学校	分校	県立特殊学校
1日	83	6	2
2日		4	
3日		1	
4日	1		
6日	1		
12日日			2
18日			1
22日			1
計	85	11	6